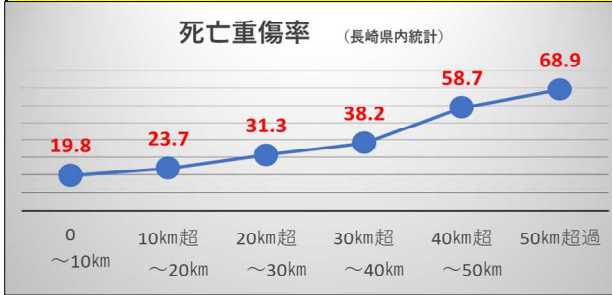


速度違反取締り指針

高速道路等における速度取締りの必要性

★走行速度が高いほど死亡重傷率が高くなる。



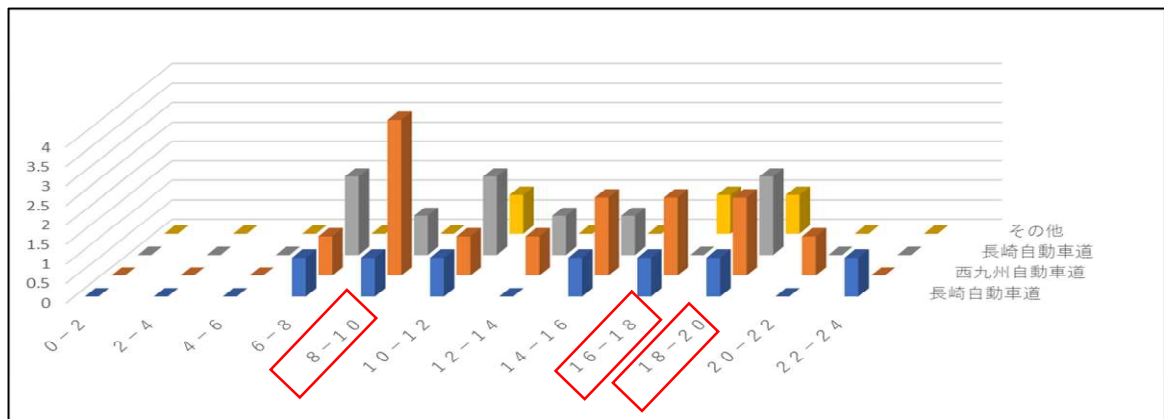
★規制速度を超えると死亡事故割合が高くなる。



※死亡重傷率 = (死者数 + 重傷者数) ÷ (死者数 + 負傷者数) × 100

もともと走行速度が高い高速道路等では規制速度を守ることが重大事故発生抑止に有効

高速道路交通警察隊の人身事故発生状況 (R7年中)



全路線ともに、朝夕のラッシュ時に事故が発生している。
(08:00~10:00、16:00~18:00)

高速道路交通警察隊の速度取締り重点

重点路線	重点区間	規制速度	重点時間帯
長崎自動車道	多良見 ~ 出島	80km	8:00 ~ 12:00
長崎バイパス	多良見 ~ 川平	60km	16:00 ~ 20:00
西九州自動車道	中央 ~ 佐々	80km	(朝夕のラッシュ時)

その他の交通指導取締り要点

- ◎ 交通事故発生時の被害軽減対策として有効な全席シートベルト着用推進のため全路線において取締りを実施します。
- ◎ あおり運転対策として車間距離・追越し・通行帯違反の取締りを全路線において実施します。
- ◎ 脇見ぼんやり運転による事故抑止のため携帯電話使用違反の取締りを全路線において実施します。